



# 大草小学校だより

第13号

令和5年10月30日

校長 山口 隆

## 年のせいかな

最近涙もろくなったなぁと思うことがよくあります。そんなエピソードをいくつか紹介します。

- ① 中学校音楽会を見に行ったときのことで。指揮者の方を集中してみる姿、大きく口を開けて表情豊かに歌う姿、「心を一にする」ということが歌声として体現できている姿にじんとするのです。本当に「感動をもらう」ことができました。11月14日、15日は小学校音楽会が諫早文化会館であります。今年は久しぶりに保護者の鑑賞も可能です。市内を東西ブロックにして、さらに午前午後に分けているので、2階保護者席も余裕があるものと想定しています。大草小の出番は14日の午後ですが、ぜひ本校以外の合唱や合奏についてもご覧いただき、皆さんも感動を味わってほしいと思います。
- ② 小体連壮行会のときのことで。安心メールで教頭先生が書いていたように、6年生に向けて一生懸命エールを送る5年生以下の姿。ジャンプしながら応援する子もいて、いつの間にかその姿が下級生にも広がっていました。これまで数多くの壮行会を見てきましたが、こんなに感動したのは初めてでした。「心をこめる」ということが体現できている姿にじんとするのです。大規模校の子どもたちのように、競技中スタンドから大きな声援が送られることはないかもしれませんが。しかし、大草の6年生の心には、この日のエールがしっかり残ったことと思います。それは決して他校の声援に劣るものではありません。明日10月31日は、きっと自分の自己ベストを目指してがんばってくれることと思います。応援よろしくお願いします！
- ③ 第68回日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会（10月28日～29日）に参加したときのことで。二日間の全日程が終了したあと、最後に佐賀出身「はなわ」さんのスペシャルライブがありました。有名になったきっかけ「佐賀県」に続いて「ママには内緒」「お義父さん」を披露してくださいました。「思いを届けよう」とする姿と言葉にじんとするのです。YouTubeでも公開されていますのでぜひ聞いてみてください。

## 来年は長崎大会！（10月26、27日）

九P佐賀大会では多くのことを学ぶことができました。参加した分科会のテーマは「時代に即した情報発信の在り方とは」「学校・家庭・地域のつながりを希薄化させず、共にWin-Winの関係となる連携の在り方とは」でした。熊本・沖縄の発表と、記念講演タニタの社長さんの話から学んだポイントを掲載します。

- ◇ 「地域のよさを主体的に発見する、地域の人に憧れる、育っている地域に住みたい、たとえ他県に行っても心から離れない」そんな子どもたちを育てていこう。
- ◇ PTAに加えて、行政と子どもたちを含めた5者連携にすることで、全ての活動に子どもたちの主体性が生まれた。
- ◇ ライフスタイルの変化や価値観の多様性に柔軟に対応し、地域とともにある学校へ。
- ◇ 主体性をもって働くことができるような工夫づくりが組織を活性化する。 などです。